

柘植地域

まちづくりだより

第310号

第一回 『つげ地域収穫祭』

開催迫る

先般、『つげ地域収穫祭・決起集会』を10月4日(金)柘植地区市民センターに於いて開催しました。当日は、出店者各位も一堂に会し、店の設営段取り・消防署への火器使用申請書の件等、開催前日迄の準備の要点を説明し周知を図りました。

続いて、10月18日(金)「収穫祭」直前と為る第6回目の「実行委員会」(最終回)を開催し、前日迄の実施要項、当日のタイムスケジュール/スタッフ各人の持ち場確認等々を打合せ、今年初開催と成る『つげ地域収穫祭』の成功を祈念した次第です。

◆第一回 『つげ地域収穫祭』

【開催日】11月3日(日・祝)文化の日

【協賛】伊賀市 産業振興部 商工労働課

※今回、『忍者トレイルランニングレース2024』と初の併催となります。

皆様の御来場をまち協スタッフ一同、心よりお待ちしております。



◆当チラシは、3まちに10月1日配布済です

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)
〒五一九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
令和六(2024)年十一月一日(金)



【人権・同和問題地区別懇談会】

中間報告会、開催【伊賀支所】

10月21日(月)午後7時半からセンターホールに於いて、令和6年度第2回目の『人権地区別懇談会』中間報告会が開催されました。



12区の区長、区長代理、人権啓発推進委員、柘植小学校・中学校代表、まち協代表、伊賀支所等計26名が出席①地区別懇談会の経過実施報告②意見交換③情報提供等々の議事発表協議しました。

柘植地域俳句コーナー
更地として
残る古井戸
花八手
中村 成子

【柘植財産区議会】【伊賀支所】

令和6年度第2回『柘植財産区議会』定例会がセンター・ホールにて開催されました。
 議事①「令和5年度柘植財産区特別会計決算の認定」(市長から第3号議案の提案説明)②「令和5年度伊賀市柘植財産区特別会計決算の認定」に係る会計監査報告 ▼全員賛成に依り、議案第3号は原案通り可決・承認されました。



令和6年度【健康ウォーキング】

健康福祉部会 主催

秋晴れの9月29日(日)「閑宿」にて左記のメンバーで『健康ウォーキング』を楽しみました。参加者アンケート結果、「閑宿」の良かった处は、昔の旅籠と現在のお店との融合・街並みが綺麗、資料館がGood-



【健康体操教室&イモ掘り】

10月4日(金)健康体操教室の後、インストラクターの亀井さん宅の畑で恒例のサツマイモ掘りを教室のメンバーで今年も行いました。アフリカ

原産、コロンブスがヨーロッパを持ち帰って以降、世界各地に伝播。



ボランティアさんの説明がとても判り易く良かった/お昼ご飯のおすすめの店は・神の介(おにぎり屋)が美味しくてリーズナブル!と言う意見が多数/次回ウォーキングのすすめ方面は・島ヶ原・月ヶ瀬・三重の宿場巡り、費用は多少掛かっても少し遠出も宜しく・・・部会長の増岡茂樹さんへ次回も期待のメールが届いています。

日本へは17世紀頃、中国・琉球から九州南部に伝わり普及。イモ類の中で最も食物繊維が豊富に含まれており腸内環境を整える効果や生活習慣病予防にも有効。更に美肌に欠かせないビタミンC・B1・B2・Eカリウム(血圧低下に効果大)も豊富!!女性にも男性にも嬉しい超優秀な食材です。

【川上ダム見学会】

生活環境部会・主催

「水資源機構」が建設した川上ダム本体の施設内見学が出来る事になり9月26日「木」見学会を実施し左記メンバーで訪れました。



【三重中央開発(株)施設見学会】

生活環境部会・主催

10月16日(水)伊賀市予野に所在する廃棄物処理業者・三重中央開発(株)の施設見学会に12名が参加しました。今回見学した所は同社の廃棄物の焼却から発電迄をワンストップで行うエネルギープラザという施設と管理型最終処分場でした。また、三重中央開発(株)の親会社である大栄環境(株)が運営する伊賀リサイクルセンターに於いては、再生可能エネルギー供給事業の推進を図る為、メタン発酵(バイオガス)施設、及び堆肥化施設が2022年に開設され稼働中です。発電規模は1980kWの設備能力を有し、年間発電量は1万5千MWhとなり、中部や関西エリアの食品関連会社から排出される食品廃棄物を処理し、食品ロス等様々な社会課題解決を目指しています。大栄環境(株)は大阪府和泉市で1979年に創業。以来



創業。以来



地球環境に配慮し、人間生活と自然が共生する手段を探る観点からどちらの見学会も有意義な機会と成りました。

【令和六年度「しぐれ忌」のご案内】

山出しぐれ忌協賛事業実行委員会

【開催日時】令和六年十一月十二日(火)

午前九時半開会 【会場】萬壽寺(山出)

【記念講演】『芭蕉と源氏物語』(10時20分)

【講師】服部温子さん(芭蕉翁記念館学芸員)

※コーラス「ユー」による芭蕉賛歌の合唱

開会の言葉、顕彰の言葉、法要、献花と続きます。

(公財)芭蕉翁顕彰会・主催

■本堂桃青殿では伊賀市主催『芭蕉祭』の

「芭蕉翁献詠俳句」特選句の掲示。境内で

は山出区有志による「菊花・寄せ植え展」

の開催、令和五年度しぐれ忌当日句の掲示

女性部による甘酒(紙パック)のもてなし

区民有志による野菜販売などが有ります。

45年、連結子会社は36社で構成されています。(メガホンで説明されている方が前山三重事業所長)今回の見学会も企画は堀田部会長。双方とも重要な社会インフラで

【柘植小学校・校外学習】
「柘植地区市民センターについて」

10月7日(月)午前中、柘植小学校3年生の校外学習「柘植地区市民センターについて」の聴き取り学習で、生徒の皆さん20人が2人の先生(山本教諭、中嶋教諭)に引率されて、元氣一杯来所してくれました。



生徒の皆さんから出た質問事項は◆市民センターでは、どんな仕事をしていますか。◆市民センターはいつからあるのですか。◆何時から何時まで働いているのですか。休けい時間はありますか。◆1日に何人くらいの人が来ますか。◆市民センターにはどんな部屋がありますか。◆何に使っていますか。◆どんな時に使うのですか。だれが使いますか。◆区長さんたちが集まって何をしていますのですか。◆どうして学校の近くに市民センターがあるのですか。◆何人の人がはたらいているのですか。■なぜこの仕事をはじめたのですか。■働いていて楽しいことやうれしいことはありますか。■働いていて



大変なことやしんどいこと、くろうすることとはありますか。■働いていて思い出に残っていることはありますか。■柘植町の特長や歴史など自分の住む町についても様々学んでくれました。

★☆☆ 編集後記 ☆☆☆

行く秋や博多の帯の解け易き 夏目漱石

▼明治29年、漱石30歳の作。一度締めたら緩まないという博多帯。締める時にキユキユと絹鳴りの音が心地良いのが特長。神経症に悩まされていた漱石が博多角帯の解け易い事に驚きを覚えた。もう秋も終りだ。

蛤のふたみに別れ行く秋ぞ 松尾芭蕉

▼「奥の細道」所収。大垣から二見が浦へ行くに際し、蛤が蓋と身とに離れ離れに為る様に辛い別れである。折から行く秋の今別れ行く寂しさが一人身に沁みる。ふたみが二見に掛かっている掛詞(かけことば)

【修辞法の一つ。同音異義を利用し、文や歌の中で、一つの語句に二つの意味を持たせるもの】

▼『衆議員選挙』大方の予想通り有権者は自公連立与党に厳しい審判を下し、民主党政権に為った2009年以来15年振りの与党過半数割れに陥った次第。自民党の敗因が政治資金問題に起因する事は明白で「政治と金」の有り様を問い質す民意が政局の流動化を現出し、自公政権の限界が露呈しました。▼選挙の秋で、11月10日の投票票「伊賀市長選・市議会選」如何なる事に為るでしょうか? 伊賀市民の選択が迫ります。(清水)